

「賛助会員の会」開催報告

賛助会員の会 運営委員会 委員

三井精機工業株式会社 渋川 哲郎（文責）

概要：秋季大会会期中（於：金沢大学）の9月21日、「賛助会員の会」第3回総会、第2回ニューテクノフォーラム（NTF）等の各種行事が開催された。本年度春季大会会期中の3月15日、東洋大学にて開催予定の第2回総会・第1回ニューテクノフォーラム等が、震災の影響で中止された経緯から、今回が本格的な活動のスタートとなった。総会、NTFに続き昼食懇談会、および2011年度第2回運営委員会を開催し今後の更なる活動の活発化に向けて議事が進められた。以下、概略を報告する。

1. まえがき

賛助会員相互および学会幹部らとの、交流の定常的機会の提供を目的に設立された「賛助会員の会」が、企画主催した第2回ニューテクノフォーラム、それに先立つ第3回総会、NTF後の昼食懇談会、2011年度第2回運営委員会が各々開催され、滞りなく終了した。

2. 第3回総会

2011年9月21日（火）9:00～9:30、金沢大学角間キャンパス自然科学系図書館棟1F大会議室にて、台風15号余波の雨と風の中、47名の参加者を得て第3回総会が開催された。賛助会員の会、米田会長は所用の為欠席であった。森協会長の挨拶に続き、上田運営委員長より本日の全体開催スケジュール、「賛助会員の会」活動状況について報告があった。2010年9月28日の設立総会と運営体制、設立記念講演等の概要、去る3月15日に予定していた第2回総会・第1回ニューテクノフォーラムが震災の影響から開催を中止した経緯、および今後の計画と、積極的な参画へのお願い等のアピールがあった。

3. 第2回ニューテクノフォーラム

第3回総会に引き続き、第2回ニューテクノフォーラムが「低炭素経済社会実現に向けた環境適合設計へのアプローチ」をテーマに開催された。大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻・梅田 靖 教授の「低炭素社会実現に向けた環境適合設計」と題した基調講演に続き、経済産業省産業技術環境局 山室芳剛氏の「世界の環境政策の新潮流～ライフサイクルアセスメントとサプライチェーン協働によるアプローチ～」、富士通(株)環境本部 古賀剛志氏の「国際イニシアティブを発揮するエコプロダクトの標準化戦略」、三菱自動車工業(株)EVビジネス本部 橋本昌憲氏の「震災後、電力需給が逼迫する中での電気自動車への期待と新しい存在価値」、(株)日立製作所都市開発システム社 千葉久生氏の「環境配慮型エスカレーターとリニューアル」と各々題する話題提供を行った。活発な質疑応答の後、パネル

ディスカッションに移ったが、世界の環境政策、国際イニシアティブ等の観点に熱のこもった議論が進められ、予定の時間を大幅に超え盛会のうちに終了した。

4. 昼食懇談会

第2回ニューテクノフォーラム終了後、自然科学系図書館棟 2F「すみれ亭」に会場を移して、パネルディスカッション・講演メンバー、参加者等々、産学関係者を交えた昼食懇談会を開催した。眺めの良い会場で軽い軽食を取りながら、賛助会員相互、更には学会幹部を始めとした参加者同士が、親睦を深めながら意義ある1時間を過ごした後、散会した。

5. 第2回運営委員会

同日 13:00 より、第2回運営委員会が開催された。上田委員長の挨拶に引き続き、2011年度の運営委員・アドバイザーの紹介があった。その後、NTF 開催テーマの中期計画について、①官学会・産業界など、幅広い分野で共通の関心事、②今後、ますます重要となる事が予想される技術分野、等々の観点から2年間の開催基本計画を運営委員会メンバーの意見を集約し立案策定した旨の説明があり、第3回 NTF 2012 年度春季大会のテーマ案「グローバル展開と日本国内モノづくりのあり方」についての議論に移った。実施テーマ、企画推進体制、その他詳細内容に関しては、2011年12月までにメール等の審議で目処付けすることとし、散会した。

6. まとめ

当「賛助会員会」の設立主旨に則って企画されたニューテクノフォーラムが、初めてスタートし、実質的に本格的な運営が始まったと言える。この活動が真の賛助会員の活性化につながり、ひいては精密工学会の発展に資することになるよう、これからも会員諸氏の積極的な関与、並びにご支援をお願いしたい。



写真1 森協会長の挨拶



写真2 総会の様子



写真3 NTF基調講演の梅田氏



写真4 NTFパネルディスカッションの様子



写真5 昼食懇談会の様子